

しあわせ小箱

人生は60歳から * 4

彼を忘れることはできない。月日は流れて8年前の冬。突然昔の友人から「彼が会いたいです。どう

マーチャンこと若宮正子さん(79)は独身。でも一度だけ、忘れられない恋をした。高校時代つきあってきた同級生。パツハの魅力

初恋の彼と今はメール

する。」「もちろん、会いたいには決まってる。彼は昔のままだった。髪はなくなっていたけれど、かつて通った彼の家で、明け方までこたつに入

しあわせ小箱

人生は60歳から * 1

「世界一幸せ」の老人がバラ色の第二の人生を拓くまでを話せばいいのよ。」「そう、マーチャンは自称「世界一幸せ

PCでバラ色の人生

な独居老人」。会社員時代はパツとしなかったけれど、定年を前に始めたパソコンで人生は変わった。今ではシニア向け掲示板の運営者で、ネット活用を支援する活動でも世界中引張りだ

しあわせ小箱

人生は60歳から * 5

無料で配られると聞き、使い方を講習を引寄せたのだ。初めて触る高齢者も多いが、「離れて暮らす孫に写真を送れ



「魔法の箱」出会う喜びを

る」と笑ってくれるのがうれし。最近、企業や若い研究者にシニアが使いやすい製品開発を助言する活動も行っている。「指が震えるから、文字入力

しあわせ小箱

人生は60歳から * 2

さつそくパソコン通信のシニアクラブに入会すると、そこは在宅で参加できるバーチャル老人会。俳句

定年の日「こっちおいで」

の会もあれば井戸端会議の部屋も。《介護中なの》と書けば、経験者がコツを書き込み、《そうそう分かる》と相づちを打ってくれる人もいる。誰かがう教えてくれた。

しあわせ小箱

人生は60歳から * 3

直な自分を出せるのかも。《余命3か月。長いこと世話になったな。そんな書き込みを残し、旅立つ仲間も大勢見て

「あああ」掲示板にSOS

きた。いつかたどる道と想うから、それぞれが万感の思いで別れの言葉を贈る。マーチャン流にいうバーチャル・ターミネールケア(終末看護)だ。リアルな助け合いもある。

読売新聞 夕刊 2014/12/08 ~ 2014/12/12